

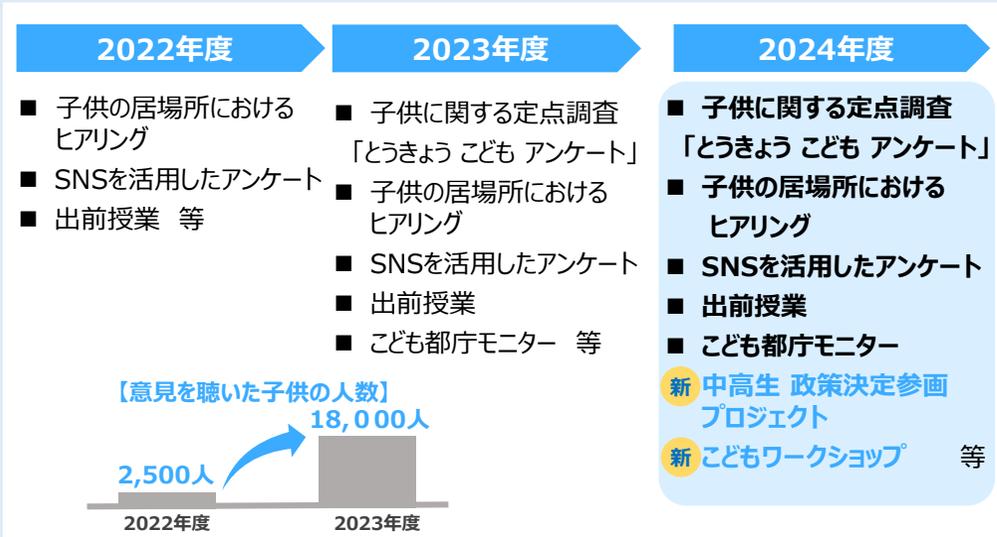
チルドレンファーストの社会の実現に向けた子供政策強化の方針2024（概要版）

「子供政策強化の方針2024」の位置づけ

- 子供を取り巻く様々なデータや子供の声等を整理しながら、**子供政策の課題と今後の政策強化の方向**を示すもの
- 本方針に基づき、子供政策の更なる加速と深化につなげるとともに、**年度内を目途に**、その内容を反映した「**こども未来アクション2025（仮称）**」を策定

I 子供の意見やエビデンスに基づく子供政策の推進

子供の实態、声や思いを反映した子供政策



新 中高生 政策決定参画プロジェクト

中高生自らが都の子供政策について議論し、都知事に提案

新 こどもワークショップ

各局の施策をテーマに、子供の意見を聴き、施策の充実に活用

今後の方向

子供の意見やエビデンスを捉え、都庁全体で子供目線に立った政策を充実

- クロス分析や経年分析等の多面的な分析
- 幅広い年代の子供の声を聴取

東京都こども基本条例の普及啓発

- 子供たちが主体的に関わって制作したコンテンツを活用し、条例の理念を普及啓発

これまでの取組

- 条例ハンドブックの制作
- 解説動画の制作
- 中高生アイルランド派遣 等

2024年度

新 こどもシンポジウム “TEENS SQUARE”の開催

- ✓ 国内の子供たちが各都市の子供政策の取組を意見交換するシンポジウム

新 子供政策に関する国際会議の開催 “Tokyo Global Forum on Children”

- ✓ 海外都市の子供政策の実務者を招待した国際会議

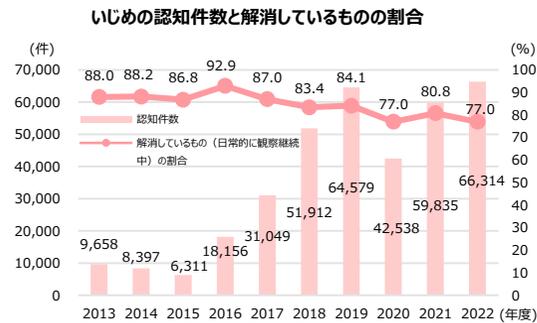
今後の方向

国内外の多様な主体との連携を通じて、普及啓発の場や意見交換等を行う場を創出

II チルドレンファーストの社会の実現に向けた子供政策強化

II - 1 都庁全体で取り組む子供政策の強化の方向

政策の柱1 誰一人取り残さない視点から、子供へのサポートを強化



(資料) 東京都教育委員会「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(概要版)」を基に作成

- 様々な悩みや困難を抱えている子供に対し、**多面的・継続的な支援が必要**
- 一人ひとりの状況に応じた支援を一層充実・強化し、**全ての子供が自分らしく成長できる環境づくりが必要**

政策強化の方向

様々な困難を抱える子供に寄り添い、一人ひとりの状況に応じた支援を強化

政策の柱2 子育て家庭に寄り添い、子供の育ちを支える環境を充実



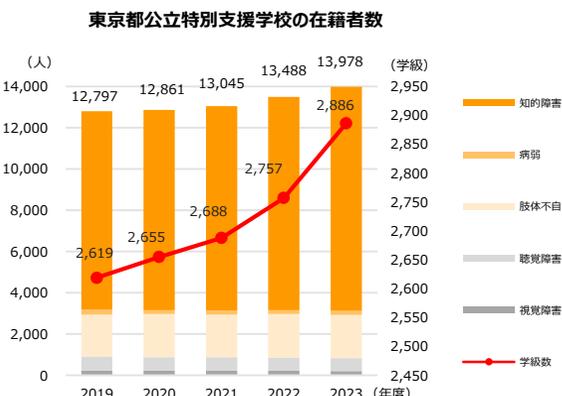
(資料) 東京都福祉局「令和5年度東京の学童クラブ事業実施状況」を基に作成

- 子供が健やかに成長していくためには、**多様なニーズを踏まえて子育て家庭をサポートしていくことが求められる**
- 保育の質の更なる向上や配慮を要する子供への対応など、**きめ細かなサービスを提供するとともに、学童クラブをはじめ、子供の安全・安心な居場所の充実が必要**

政策強化の方向

子育て家庭のニーズを的確に捉えたサービスの充実など、子供の健やかな育ちを支える環境づくりを推進

政策の柱3 「東京型教育モデル」により、教育の質を向上



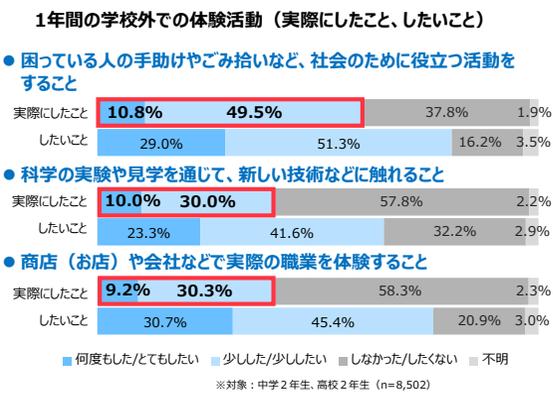
(資料) 東京都教育委員会「令和5年度 公立学校統計調査報告書【学校調査編】」を基に作成

- VUCAの時代において、**デジタルを活用した問題解決力や、グローバルな発想力など、未来を切り拓く力を育むことが一層重要**
- 障害の有無、文化的・言語的背景などにかかわらず、**子供の可能性を伸ばす教育環境が必要**

政策強化の方向

変化の激しい時代において、DXも活用しながら、誰一人取り残さず、一人ひとりの学び・挑戦を支援

政策の柱4 多様な主体と連携し、子供の笑顔を育むアクションを展開



(資料) 独立行政法人国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査(令和4年度調査)」を基に作成

- 区市町村や企業・NPOなど**様々なステークホルダーと連携し、子供の参画機会を創出・定着していくことが必要**
- 育業への理解促進や、育業を支える側への支援など、**育業を後押しする多面的な取組が必要**

政策強化の方向

官民が一体となって、子供の社会参画の機会を創出するなど、社会全体で子供を大切に作る気運を醸成

II - 2 組織横断で取り組む「リーディングプロジェクト」の政策強化の方向

- 既存の枠組みでは対応困難な課題や先進的な取組等をリーディングプロジェクトに位置付け、シームレスに展開

① 乳幼児期の子育て <とときょう すくわくプログラム等>

- ✓ 乳幼児の「伸びる・育つ」等を応援する幼保共通のプログラム
- ✓ 2024年度から都内全域展開



政策強化の方向

- 支援体制や戦略的広報の充実等により実践圏を拡大
 - ・ 東京大学の研究機関（CEDEP）と連携し、プログラムをバージョンアップ
 - ・ プログラムを実践する保育所等に対するサポート体制を構築

② 子育てのつながり創出 <ファミリー・アテンダント等>

- ✓ ファミリー・アテンダント（訪問型支援）：2024年度から本格展開
- ✓ ギュツとチャット（SNS相談）：2025年1月先行稼働予定



政策強化の方向

- 子育て家庭への支援充実に向け、実効性のある取組を推進
 - ・ 0歳児を養育する家庭を中心に、全戸定期訪問等による支援を展開
 - ・ AI活用や多言語対応等、気軽に相談できる体制を整備

③ 学齢期の子育て <学び・居場所の多様な選択肢を創出>



- ✓ 学校外
2024年度からフリースクール等への支援を開始
- ✓ 学校
チャレンジクラス（不登校対応校内分教室）の設置等

政策強化の方向

- 多様な学び・居場所の創出を推進し、子供が自分らしく学び生活できる環境を整備

フリースクール等への支援

- ・ 子供に寄り添った実効性の高い利用者支援を展開
- ・ 保護者の不安や悩みに対するサポートを充実

様々な不登校対策

- ・ チャレンジクラスの設置促進
- ・ 専門機関につながっていない子供への支援

④ 事故から守る環境づくり

事故予防の大事な点・・・

「変えられるもの」を「変える」!



政策強化の方向

- 産官学民によるオープンデータベースの利活用や戦略的な情報発信により、子供の事故が起きにくい環境づくりを推進

⑤ 子供の笑顔につながる「遊び」



政策強化の方向

- 子供が身近な場所で、伸び伸びと遊び、他者との交流を通じて多様な体験ができる環境づくりを推進

⑥ ヤングケアラー

政策強化の方向

- 当事者に寄り添いながら、多機関連携の下、切れ目のないサポートを実施



⑦ 日本語を母語としない子供

政策強化の方向

- 子供の地域や学校への適応を支援するとともに、心理面や生活面等を支援



⑧ ユースヘルスケア

政策強化の方向

- ユースの意識向上と行動変容を促進、ニーズに応える支援体制を一層充実

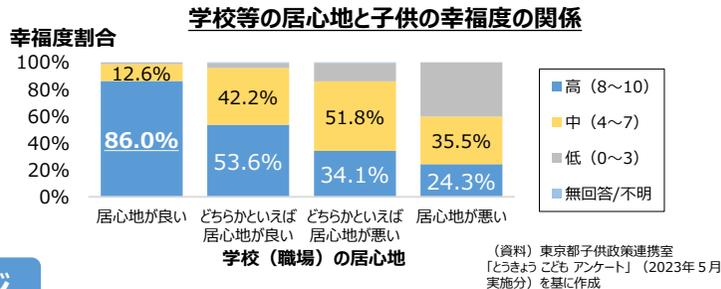


新たなリーディングプロジェクト

<想定テーマ：学校の居心地向上>

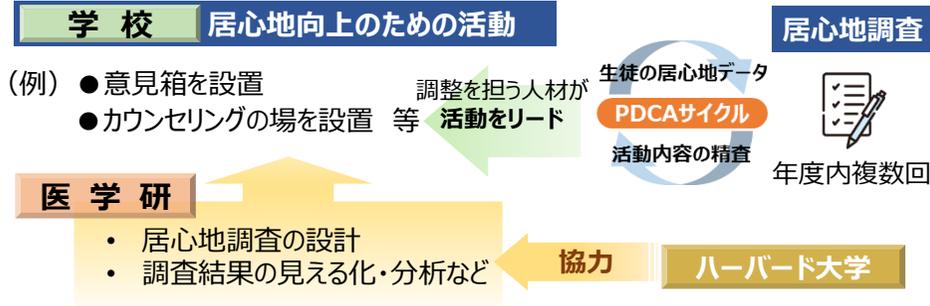
- 海外の研究：居心地の良い学校環境では、生徒のメンタルヘルスの問題が生じにくく、いじめ等の件数が少ない
- 都の調査：学校が居心地が良いと感じる子供は、幸福度が高い傾向

研究機関等と連携し、学校の居心地をより良くする取組を実施



取組イメージ

2024.1 東京都医学総合研究所（医学研）と協定締結
2024 都立小台橋高校等において取組を実施し、枠組みを整備



政策強化の方向

- 今年度の取組を踏まえ、検証スキーム等を構築
- スキームに基づき、学校において検証開始

<想定テーマ：子供の未来を育む「体験活動」の推進>

- 子供は、発達段階に応じて、多くの人と関わり**体験や経験**を積み重ねる中で、**社会を生き抜く上で必要となる基礎的な能力**を身に付けていく

学校内外で様々な体験活動を創出、子供の豊かな育ちをサポート

様々な体験活動（イメージ）

ボランティア

職業体験

自然体験

スポーツ

文化・芸能

音楽

国際交流

地域社会

など

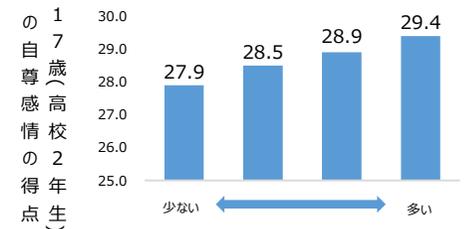
▶ 子供たちは、学校内外で体験機会の充実を望んでいる

子供

- ・ 自然との関わりを深めたい
- ・ 日本の技術や仕事、職業、ボランティアなどの体験や見学をしたい
- ・ ドローン操作、プログラミング作成などを体験したい
- ・ 国際的なことに関連した活動が増えたら良い

▶ 体験活動は、子供の成長に良い影響を及ぼす

自然体験は、自尊感情や外向性に、
社会体験は、向学校的な意識（勉強・授業が楽しい）に、
文化的体験は、多くの意識に良い影響



12歳（小学6年生）頃の自然体験の機会

（資料）株式会社浜銀総合研究所（文部科学省委託調査）「令和2年度『体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト』報告書を基に作成

政策強化の方向

- 多様な主体と連携し、子供のニーズや発達段階に応じた様々な体験機会を創出